



2009-2010年度
 "Future of Rotary is in Your hands"
 RI会長
 ジョン・ケニー



千歳ロータリークラブ会報

2009年12月24日
 第22号 (通算1990号)

CHITOSE ROTARY CLUB

岩崎会長テーマ
 『浩然の気』
 -ロータリアンは茄子の花-

会長 岩崎 暉久 副会長 加藤 武仁 幹事 川端 清
 会長エレクト 佐々木金治郎 会計 佐藤 晴一
 第2510地区ガバナー 渡邊 恭久 第7グループ・ガバナー補佐 加藤 寛治

～ 12月はロータリー家族月間～



クリスマスの夕べ (12月17日の夜間例会)

四つのテスト

～思いと言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 (12/24 第26回) : 年次総会 (36分例会) 担当 : 会長

～ANAクラウンプラザホテル千歳～

(12、1月のプログラム)

12月31日 (木) 休 会 (大晦日)
 1月 7日 (木) 夜間移動例会 (新年交礼会) 西洋軒
 担当 : 親睦活動委員会
 14日 (木) 通常例会 担当 : プロバスクラブ委員会
 21日 (木) 通常例会 (市長卓話)
 担当 : プログラム委員会

(ローターアクト例会)

1月 7日 (木) 合同移動例会 (西洋軒)

(プロバスクラブ例会)

1月19日 (火) 午後6時半
 ベルクラシック・リアン (千歳平安閣)

出席率 前回 : 77.2% (12月17日=44/57、実数)
 確定 : 75.4% (12月 3日=43/57、うちメーキャップ0名)

2009～2010年度
第25回（通算2092回）例会報告

日時：2009年12月17日 18：30～20：30
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳
プログラム：夜間例会 クリスマスの夕べ
担当：親睦活動委員会
年に一度の家族同伴例会。今年は夫婦限定とし、ご夫人24名の参加がありました。また、合同例会となった千歳ローターアクトクラブからは8名の出席でした。

例会の進行

SAA委員長 大西 信也

ニコニコBOX、出席率発表は、割愛いたします。

ロータリーソング 「奉仕の理想」

四つのテスト

発 声

定款・細則委員会
副委員長 加藤 輝明



友情の握手タイム

会長挨拶

会 長 岩崎 暉久



メリー・クリスマス！ 皆さん本日はお寒い中、会員および奥様方わざわざ当会場までお越しいただきまして、ありがとうございます。思いもかけないほどの大勢の方々のお出席で、戸外の寒さとは裏腹に、会場内は熱気があふれんばかりでございます。皆様のご協力に重ねてお礼申し上げます。

さて本日は、クリスマスを祝う会というよりは、友人知人が相集い、親睦を深めようと企画したパーティー。バンド演奏もあり、歌もありという和やかなムードの中でワイワイガヤガヤ、とにかく楽しくやろうじゃないかというのが主旨でございます。キリストの降誕云々といった堅苦しい話は抜きにして大いに飲み、大いに食べ、大いに語り、楽しい夕べになることを期待しております。それが明日への飛躍につながり、親睦の和が広がることを願い、ごあいさついたします。

幹事報告

幹 事 川端 清



影のロータリアンとして君臨されております奥様方をお招きしてのクリスマス会。楽しいひと時を。

次週24日は、36分例会で、重要事項の審議がございますので、出席のほどを。この日は理事会もでございます。

31日は年末休会です。事務局も12月26日～1月5日までお休みとなります。

クリスマスの夕べ

親睦活動委員会
副委員長 玉山 敬史



これより、千歳ローターアクトクラブのクリスマスの夕べを開催します。末廣直前会長開会のごあいさつと乾杯の発声をお願いします。

乾杯の発声

直前会長 末廣 孝



久しぶりに壇上に立ちました。これからお酒が入り、楽しい一夜にしていきたい。昨年度は皆様のお世話になりました。本日は奥様方、アクトの皆さんにも来ていただき、ゆつくりと過ごしたいと思います。乾杯！

ジャズの演奏と歌



「ブリジット・ストリングス」によるジャズナンバーの演奏と歌



料理の最後にクリスマスケーキ



ビンゴカードのお買い上げを



こちら单身テーブルの面々

ご夫人・女性会員にお花のプレゼント



ビンゴゲーム



ビンゴカード売り上げ金をプロの手さばきで数える佐藤 信明会員



抽選機の操作方法を教わる

第38回ロータリー研究会の報告



丸駒温泉ペア宿泊券を会長から中山会員夫人に

締め乾杯の発声

会長エレクト
佐々木 金治郎



バスターガバナー 佐藤 秀雄

第38回ロータリー研究会は2009年11月18日（水）から11月20日（金）にわたり東京都港区台場「ホテル グランド パシフィック LE DAIBA」で開催された。R I関係者は、招集者R I理事黒田正宏、来賓としてR I会長ジョン・ケニー、R I財団管理委員長グレンE・エステス、事務総長エド・フタ、駐日大韓民国大使権哲賢氏らR Iトップの人達が参加した。駐日大韓民国大使は元米山記念奨学生で家族で日本に留学し筑波大学大学院での極貧の生活の中に米山記念奨学金を頂き、生活の中に一筋の光明を見出したことを述べ30分の挨拶ののち退場したが、その余の人達は終日会場にとどまり、講演・質疑応答に対応した。

第1日日本会議第1セッションでは「新世代の奉仕」として、「日本の青少年交換・ローテックス・IACの現状と問題点」と題して関場慶博氏（弘前）、「日本のRACとRYLAを含めての青少年奉仕活動」と題して海沼美智子氏（東京恵比寿）がそれぞれ基調講演を行った。本会議第2セッションにおいては「ポリオ撲滅を目指して」と題してグレンE・エステスTRF管理委員長が基調講演を行い、3人のパネラーがそれぞれ報告した。

ポリオ撲滅については1985年R I理事会がこれを取り上げ、1986年正式に国際ロータリーのプログラムとしてポリオを「世界から撲滅しよう」と立ち上がった。日本のロータリアンも熱い思いを持って、地域社会において市民から募金を募り多大の寄付金をR Iに送り、接種ワクチンを購入し全世界の子供たちに予防接

千歳ローターアクトクラブ、提唱クラブと合同移動例会



千歳RCクリスマスの夕べに出席

千歳ローターアクトクラブは、千歳セントラルRC、恵庭RC、千歳RCと、提唱クラブとの合同移動例会に相次いで出席しました。

種したのであった。

時は移り日本のロータリアンはポリオが撲滅されたものと思い、ポリオの話が出てもさほど興味を示さず現在に至っている。しかし、一部のロータリアンは今も情熱を持って世界から「ポリオを撲滅しよう」と活動を継続している。現在、ポリオ患者はインド、パキスタン、ナイジェリア及びアフガニスタンの4カ国となり、約1,000名弱となった。

国際ロータリーは、世界からポリオを撲滅するために、再々度立ち上がり、2億ドル達成を目標に大キャンペーンを展開している。ポリオウイルスは一度消滅しても再度発生する可能性を秘めている。従って息の長い撲滅運動を展開して行かなければならない。ポリオ！！もう、終わったのではないかと、多くの日本のロータリアンは言い、且つ、思っている。どっこい、ポリオは終わっていないのである。またかと言わずに撲滅に協力していただきたい。

しかし、ロータリーがポリオに取り組んで既に20有余年が経過した。各国の政府、国連の機関であるユニセフ、疾病センター等が協力できる体制が整った。そろそろロータリーもポリオを卒業し、次の目標を設定すべき時期が到来していることを痛切に感じている。環境問題等を取り上げ世界のロータリアンが、その目標に向かって熱い思いを、そして激しい情熱を傾ける目標を一日も早く設定することが、退会防止に役立つ最大の特効薬となろう。

第2日目は第3セッション「メンバーシップとリーダーシップ」と題して南園義一氏（防府）が、第4セッションでは「職業奉仕と倫理」と題して道下俊一氏（浜中）、第5セッション「水・環境保全と保健」と題して坂本俊雄氏（東京八王子南）、第6セッション「2010年規定審議会」と題して田中毅氏（尼崎西）、第7セッションでは「識字率向上」と題して重田政信氏（高崎北）らが、それぞれの立場で報告を行った。

最後のオープンフォーラムは、会場から日ごろR Iまたはロータリーに疑問を抱くロータリアン等が、R I会長以下に率直に問題提起する場であり、毎回活発な論議が重ねられている。

今回は残念ながら午前中に質問票に書いて提出する方法が取られたため、質問票を司会の黒田理事が大意を汲み取りトップに質問し、それに関連するトップから回答を頂く方法に変えたため、盛り上がり欠けるフォーラムとなった。私は、当クラブから地区に上げたR I分担金の凍結の決議案を提案していたため、ジョン・ケニー会長に、「人頭分担金凍結」につき質問した。その理由は1996年をピークに日本全国のロータリアン、地区そしてクラブは想像を絶する会員減少に直面している。かつ、高齢な会員を擁しているところから年金のみのロータリアンが年々増加傾向にある。このロータリアン達は、高額なクラブ年会費の支出に悩んでいる。これら会員は生涯会員で居たいという。クラブはこれら会員の退会防止の観点から年会費を減額するため細則の改定を検討している。そこに2009、10、11年度は年1ドル、2012、13、14年度年2ドル増額するという。時代に逆行しているのではないかと質問をした。

回答は、フタ・事務総長からであったが世界経済は年4%の上昇を見ている。世のロータリアンは年々増加傾向にあり、現在123万人を擁している。この会員を管理・運営していくためには、管理要員を増やしていかなければならない。そのためには、人頭分担金の増額はやむを得ない問題である。確かに日本のロータリアンは減少傾向にあるが、いずれ経済が回復すれば元に復帰するであろう。また、財団一つを取ってみても、日本は昨年度より増加している。心配は要らない。

確かに、総会員の増加により管理運営費用はそれなりに必要となろうが、世界が非常に厳しい経済環境下にあることを認識すれば、分担金増額など考える余地など無いのではないかとはいたいのである。R Iは発足当時から1業種1人を原則とした。しかし、最近になり1業種5人までに緩和した。これにより多くの真摯にロータリー哲学を求めた会員は無言のまま去っていったのである。R Iが時勢に流され、会員の拡大だけを目的としたとき、いずれ崩壊の末路を辿る運命になりはしないかと案ずる者の一人である。



手に手つないでクリスマス家族会

09・12・17

(撮影・大澤雅松)

千歳ロータリークラブ

事務所 千歳市北栄2丁目2番1号 ANAクラウンプラザホテル千歳 TEL.23-4470 FAX.23-4600

事務局 月・水・木曜日 10:00~14:00 ホームページ:www.phoenix-c.or.jp/~c-rotary/

例会日 木曜日 12:30~13:30 第3木曜日 18:30~ e-mail:c-rotary@phoenix-c.or.jp

クラブ会報・広報・雑誌・IC委員会

◎沼田 常好 ○大澤 雅松 尾崎伊智朗 齊藤 公彦 村上 倫行

印刷 千歳印刷株式会社 千歳市錦町3丁目3番地 TEL.23-2229 FAX.23-2724